

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	2 3 4
		決裁期日	平成 2 3 年 5 月 3 0 日
名 称	第 1 回 放 課 後 子 ども プ ラ ン 事 業 運 営 協 議 会 会 議		
日 時	平成 2 3 年 5 月 2 7 日 1 5 時 2 5 分 ~ 1 6 時 3 0 分		
場 所	社会教育総合センター 大集会室		
出席者	委員：金谷、北島、山口、阿部、佐藤、稲毛、米澤、安西、杉本、安井 井上、藤田 1 2 名 教育委員会：服部課長、鈴木主幹、川久保、月東指導員		
内 容	<p>別紙のとおり。</p> <p>鈴木主幹進行。課長から、各委員に委嘱状を交付。</p> <p>課長挨拶</p> <p>運営協議会委員任期が1年から2年となった。また、構成委員についても規則にある関係者をお願いをしたところであるが、ボランティア団体関係者においては依頼したが、次期選出との返答となり、今期委員は12名をお願いすることとなったので、よろしくお願いしたい。</p> <p>安全で安心な居場所づくり事業としてH19年度から実施され本年で5カ年目となる。単に安全で安心な居場所のみではなく、子ども達の学力・体力向上など、この事業の質が求められている。保護者のニーズを把握し「知・徳・体」の推進する取り組みを図らなければならないと考えている。</p> <p>委員等自己紹介</p> <p>各委員及び職員の自己紹介。(月東指導員は、東中小みんなで遊ぼう従事後)</p> <p>役員選出</p> <p>事務局提案の発言が安西委員からあり、委員長：稲毛保夫氏、副委員長：米澤義英氏を提案し、全員の承認を得て決定した。</p> <p>報告事項・・・川久保より報告</p> <p>質疑として、事業費収入の放課後子ども教室推進事業費補助金の前年度対比額が、減額となった要因について(稲毛委員長) 研修会出席における旅費の支給について(金谷委員)(以下、鈴木主幹が回答)</p> <p>は補助基準額の上限額設定と補助率が見直しされ、減額となった。</p> <p>は町職員と同様の服務規定適用となっており、公用車出張の為交通費の支給はないが、所要時間に応じての報償費の支給をしている。</p> <p>協議事項・・・川久保より説明</p>		

内 容

平成23年度の登録状況、指導員体制（19名内4名は本年度新規採用）、勤務体制（平日：上小8名、西小5名、江幌小3名、東中小3名）、発達支援センター職員の巡回支援、学校との特別支援にかかる情報交換（上小5月30日予定、それ以外は随時）、指導員の研修報告・予定、本事業における周知（各学校教室内に放課後クラブ・スクールカレンダー掲示と広報かみふらの6月10日号予定）、今年度の運営協議会開催を年3～4回予定、時期については各委員と都度調整し、時間も15時以降で開催予定の説明を行った。

周知の部分で北島委員（西小教頭）から、利用予定の変更連絡が学校に入る場合があるので、次回発行分からレイアウトの工夫検討願いがあり、改善することとした。

また、学校だよりでの周知も検討できないかとの安井委員からの発言もあり、学校側でも検討してもらうこととなった。

その他

インフルエンザ等おける対応は昨年同様とし、スクールは中止、クラブは学級、学年単位での閉鎖に応じて、中止とする。また、緊急時等における集団下校時については、学校と連携し対応することとする。メール配信サービスの任意登録状況は合計76件で、本年度の使用はまだない。学校支援地域本部事業との連携も、町内スポーツ・文化活動の登録団体に依頼し活動実施を予定する。

また、運営協議会委員、指導員、社会教育班スタッフとの懇親会を6月10日（金）19時から開催し後日、案内をする。

以上を説明し、質疑もなく会議を終了した。

・その他各委員から

金谷委員：地域に本事業内容が浸透している。

北島委員：当事業により、放課後の児童における学校職員対応部分がなく感謝している。

山口委員：小規模校であり、帰宅後子ども同士で遊ぶのは難しい環境であるが故、みんなで遊ぼうは、子ども達も楽しみにしている。現在週1回であるが、回数増ができればと考えている。

阿部委員：東中小同様に、子ども達は毎回楽しみにしている。回数増の要望期待。

佐藤委員：上富の放課後プラン事業は、先進的な取り組みをしていると認識している。

安西委員：開始当初からかかわっているが、けがの対応が心配。

杉本委員：放課後スクールの利用終了時間が16時で良いのかと思ったが、保護者の就労の有無に関係なく利用可能との主幹説明で了承した。

安井委員：クラブに関しては児童福祉の部分と認識している。児童館の利用制約（帰宅後の利用）もありクラブの利用者が多いことを承知しており、子ども達のことを考えると助かっている。

井上委員：指導員は保護者、地域との信頼関係が必要と認識し、指導している。

藤田委員：非常に助かっていると保護者の声が聞こえている。

以上委員からの意見で、いずれも放課後プラン事業は学校、保護者、子どもにとっても高評価事業との認識をしている。